日本サッカー協会（JFA）の新しい会長に
本市出身の宮本（みやもと） 恒靖（つねやす）氏が就任されました

本市出身で、Jリーグのガンバ大阪やオーストリアのレッドブル・ザルツブルクなどでプレーし、日本代表のキャプテンとしてFIFAワールドカップにも出場した宮本 恒靖氏が、2024年３月23日、日本サッカー協会（JFA）の新しい会長に就任されました。

〈プロフィール〉

1977年大阪府富田林市出身。

伏山台小学校４年生の時にサッカーを始め、金剛中学校サッカー部からU-15日本代表に選出される。生野高校時代にはガンバ大阪ユースでプレーし、高校卒業後はガンバ大阪トップチームに昇格。プロサッカー選手としてのキャリアを歩み始めるとともに同志社大学経済学部へ進学し、プロサッカー選手と大学生の二足の草鞋（わらじ）を履く。

2005年にガンバ大阪でＪリーグ初優勝。2007年からオーストリアのレッドブル・ザルツブルクでプレーし、リーグ戦優勝に貢献した。2011年にヴィッセル神戸で現役を引退。日本代表としても２度のFIFAワールドカップ（2002年日韓大会、2006年ドイツ大会）に出場。

2022年から日本サッカー協会の理事を務め、2023年に専務理事、2024年３月に会長に就任した。

©JFA

©JFA

©JFA

〈本市の子どもたちへのメッセージ〉

富田林市の児童・生徒の皆さんこんにちは。

伏山台小学校、金剛中学校卒業生の宮本 恒靖です。

皆さんくらいの年代だと生まれる前の出来事かもしれませんが、元プロサッカー選手で、日本代表としてオリンピックやFIFAワールドカップにも出場しています。

サッカーを始めた頃から、もっと上手になるためにはどうしたらいいだろうと考えて、得意なことはもっと得意に、苦手なことは苦手じゃなくなるように、チャレンジを続けてきたことで成長できました。みんなが今頑張っていること、サッカーじゃなくて他のスポーツでも勉強でも、もっと得意になれるように、苦手なことでも克服できるようにチャレンジを続けてほしいと思います。

2024年３月に公益財団法人日本サッカー協会の第15代会長に就任しました。みんながサッカーやスポーツをもっと楽しめるように、サッカーを通じて社会に貢献できるように、大変な仕事ですがみんなに負けないようにチャレンジしていきたいと思っています。

一緒に頑張りましょう。